

取扱説明書

電源変圧器

本機器を安全に御使用頂くために、御使用に先だって本文を必ずお読み下さい。
また、日常の保守点検、或いは異常を発見する場合も必要となりますので大切に保管して下さい。

警告

感電の恐れがありますので、以下のことを必ず守って下さい。

- ・ 入出力端子部の変更、締付チェックをする場合は、回路が活電状態でないことを確認してから行なって下さい。
- ・ 接続端子は、緩みのない様に確実に締め付けて下さい。
- ・ 通電中は、端子部その他の部分に絶対触れないで下さい。
- ・ 外観部は通電中高温になりますので、触れないで下さい。

東京精電株式会社

本社・東京営業所

上田営業所・工場・技術

名古屋営業所

〒168-0081 東京都杉並区宮前4-28-21

〒386-0155 長野県上田市蒼久保1216

〒462-0841 名古屋市北区黒川本通 4-36 黒川旗ビル 7F

TEL 03-3332-6666

TEL 0268-35-0555

TEL 052-991-9351

FAX 03-3332-6672

FAX 0268-35-2895

FAX 052-991-9350

1.概要

電源変圧器は、電磁誘導作用を利用して交流の電圧及び電流を任意の値に変換出来る大変便利なものです。

本機器はサイリスタ等の半導体素子を使用せず、波形歪や雑音発生がなく、構造も単純で機械的保守は全く不要、また効率の良い電力変換が出来ます。

2.現品到着時の点検

製品がお手元に届きましたら、次の事項についてお調べ下さい。
その結果、もし問題がありましたら、すぐに当社営業部又は代理店へ御連絡下さい。

- ・注文書と現品の照合と数量。
- ・輸送中に生じた破損箇所はないか。
- ・各部のねじ及び端子類の緩みはないか。

3.保管・運搬

3-1 保管

次の条件を満足する様な場所に保管して下さい。

- ・風雨や水滴のかからない所。
- ・湿度の低い所。
- ・有害なガスや液体のない所。
- ・塵埃・鉄粉などのない所。
- ・周囲温度が-10℃～40℃の所。
- ・振動のない所。

3-2 再試験

当社出荷から使用するまでの期間、及び使用を停止してから再始動するまでの期間が長期にわたる場合は、本機器の絶縁抵抗試験（メガテスト）を行なって下さい。

- ・試験要項
入力端子及び出力端子間と鉄芯間（又は取付金具）へ500Vメガにて10MΩ以上であることを確認します。

3-3 運搬

本機器を運搬する場合は、振動・衝撃を極力少なくして下さい。
また、重量物なので足元等に落とさぬ様、充分注意して運搬して下さい。

4.設置

本機器の機能を十分に発揮させるため、最適な場所に正しく設置して下さい。

4-1 設置場所

3-1項の保管場所を満足する様な場所に設置して下さい。

4-2 設置方法

本機器は、自然対流風による空冷効果を考慮して設置して下さい。
また、磁界によって影響を受ける機器(CRT,計器類)がある場合は、これらとの間隔も充分あけて設置して下さい。

5.入力電源

本機器の入力電源容量は、定格出力容量と同等で充分です。
但し、入力容量に余裕があるほど出力電圧の負荷変動を小さく出来ますので、多少多目の入力容量で使用される事をお勧めします。

注意

定格入力電源範囲（定格入力電圧+10%）の上限を超えた入力電圧で使用しないで下さい。もし、過電圧の状態です長時間使用しますと、変圧器が磁気飽和して、負荷の有無にかかわらず入力電流が大きくなり、放置すると焼損する場合があります。

6.配線

製品の定格出力容量に見合ったAC600Vビニール絶縁電線や、キャプタイヤケーブルを御使用下さい。

- ・ 入出力端子への接続は、製品の定格出力容量及び端子径寸法を参照のうえ、適切な圧着端子を選定して下さい。
- ・ 本機器から負荷機器までの配線距離が長い場合は、配線材による電圧降下も考慮して下さい。

7.運転

7-1 運転前の確認

- ・ 入力側・出力側の配線は正しいか。
- ・ 各端子のねじは固く締まっているか。
- ・ 供給電源電圧と本機器の入力電圧が一致しているか。
- ・ 入・出力ブレーカはOFF状態になっているか。（ブレーカ付きの場合）
- ・ 本装置周囲の安全確認（4項）

7-2 運転後の確認

- ・ 出力電圧は指定通りか。
- ・ 出力電流は定格値を超えていないか。
- ・ 異常なうなり音はしていないか。

8.保守点検

以下の保守点検を行なって下さい。

- ・ 入出力電圧は定格通りの値か。
- ・ 出力電流は定格値を超えていないか。
- ・ 異常なうなり音はないか。
- ・ 異常な臭いはしていないか。
- ・ 端子の締め付けは異常ないか。

以上の項目は、6ヶ月～12ヶ月ごとに点検することをお勧めします。

9.注意事項

注意

- ・ 入力電圧は必ず仕様範囲内で使用して下さい。
範囲外で使用されますと、特性を十分に発揮できないだけでなく、本製品の寿命にも影響があります。
- ・ 入出力端子の配線材は完全に締め付けて下さい。
また、入力出力を逆に接続しますと、本製品が焼損する場合があります。
- ・ 取り付け或いは使用中に誤って変圧器コイル部に傷を付けた場合、そのままの状態で使用しないで下さい。
- ・ 激しく振動する場所での使用は避けて下さい。

警告

- ・ 運転中むやみに端子類、その他活電部に絶対触れない事。
- ・ 入力タップを変更する場合は、必ず電源を切って、電圧が発生していないことを確認してから、作業する事。
- ・ 端子の緩み等ないか確認する場合は、必ず電源を切って、電圧が発生していないことを確認してから、作業する事。

もし、取り扱い上不明な点或いは、異常・故障等がありましたら、その状態を調査の上、御連絡下さい。